

2023 年度

大学院入学試験要項

博士前期課程
(学内進学)

青山学院大学
大学院理工学研究科

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのれの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用します。

アドミッションポリシー(入学者の受け入れ方針)

《博士前期課程・修士課程》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

《理工学研究科》

【基礎科学コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、物理科学または数理サイエンスを学び研究するための基礎学力がある。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、物理学・数学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【化学コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、化学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、化学および科学技術と社会との関係に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【機能物質創成コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、材料科学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、材料科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【生命科学コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、生命情報科学、生体分析化学などの基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、生命科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【電気電子工学コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、電気電子工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、電気電子工学及び関連分野に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【機械創造コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、機械工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、ものづくりに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【知能情報コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、情報テクノロジー関連分野の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、情報テクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【マネジメントテクノロジーコース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、経営システム工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、マネジメントテクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

理工学研究科および各コースの教育研究上の目的・カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。

出願について

学内進学の出願期間は、2期に分かれています。

特別給付奨学金・理工学部50周年記念奨学金の申請は、第一期出願者（有資格者のみ）に限り認められます。

【1】出願資格

本学部に在籍の卒業見込み者で、本理工学専攻への進学を第一志望とする者は、推薦制度である「学内進学」入学試験を受けることができます。この「学内進学」入学試験は、

- (1) 各学科での被推薦資格の認定
- (2) 各コースでの審査

の2段階のステップを踏んで行われます。

ステップ(1)では、各学科において、次のAまたはBを満たした者を被推薦資格者として認定します。

A：卒業年度直前学期終了時（3月末）における成績順位（全科目のGPAまたは専門科目のGPAによる順位）で上位65%以上である者

B：各学科が定めた独自の推薦基準（実力試験など）を満たした者

ステップ(2)では、被推薦資格者が希望する研究指導教員の面接を受けたうえで、各コースが審査を行います。

この「学内進学」入学試験は、本学理工学専攻への進学を第一志望とする者に対する推薦入学試験制度であるので、制度の意味を良く理解して信頼性を損なわないように慎重に出願してください。当然ながら、この入学試験により進学する者は、本学の就職斡旋を受けられません。やむを得ず志望変更をする場合は、推薦を辞退するものとします。他大学大学院などの受験を予定している者は、9月に実施される入学試験による進学をめざしてください。

【各学科独自の推薦基準】 各学科が定める独自の推薦基準（上記B）を以下に示します。

物理・数理学科

物理・数理学科で2022年1月に実施した実力試験において、上位3分の1以内の成績を収めた者。

化学・生命科学科

前記のステップ(1)におけるAの推薦基準に満たない者に対して専門科目に関する実力試験（4月中旬）を課し、一定の合格基準に達した者を被推薦資格者として認定します。ただし、全科目および専門科目のGPAが1.8に達しない者は受験することはできません。

電気電子工学科

2021年11月に実施した学力試験の得点が基準点以上である者。基準点を満たした者は2022年4月上旬に掲示します。

機械創造工学科

実力試験本試験の成績が満点の6割以上の者。または、技術士第一次試験に合格した者。

経営システム工学科

経営システム工学科で実施する実力試験（2022年1月）の結果、大学院推薦レベルに該当する成績を収めた者。または、技術士第一次試験に合格した者。

情報テクノロジー学科

2021年の11月下旬に行った実力試験で大学院推薦レベルの得点を得た者。

[2]理工学専攻コース概要と注意事項

応募に際しては、希望する研究指導教員または大学院教務主任（当該出願コース）と十分に相談することが望まれます。

基礎科学コース

自然科学の基礎である数理科学、理論物理学（物性、固体、生物、宇宙など）、実験物理学（原子・分子、凝縮系、宇宙など）を中心とし、さらに数理生物学、複雑系、ソフトマター、地震やレオロジー、量子多体系、量子制御、スピントロニクスなどへも視野を広げています。これら専門分野の研究に携わることは自然科学の神髄に迫る醍醐味を味わうことでもあり、同時に、山積する多種多様で千姿万態な問題の中から本質的な課題を見つけ出し、モデルを構築してそれを解決する能力を養うことにも通じます。深い教養に裏打づけられた知性に富む、自立的、能動的、かつ直観力に優れた人材を涵養します。

化学コース

物理化学、有機化学、無機化学の3分野で構成されています。分子および分子集合体を対象にして、化学本来の視点から研究を遂行し、幅広く深い化学的素養を身につけた人材を育成します。

機能物質創成コース

新機能を持つ物質の創成を中心に、物質設計やデバイス作製等の応用も視野に入れた総合的な研究を行うことを目的としています。物性物理学、固体化学、物質科学、薄膜工学、電気物性工学、表面科学等のいずれかを基礎におきつつ、最先端の機能物質に関する分野を横断した幅広い知識に精通した人材を育成します。

生命科学コース

生命科学の急速な進歩は、新たな学問領域や産業領域を切り拓き、社会に対しても大きな影響を与えつつあります。生命科学コースでは、この広い領域の共通基盤となる知識を身に付け、生命現象を担う分子の構造、機能、およびその調節機構の研究を通して、自ら研究を進める能力の育成を目指しています。また、理工学専攻中の生命科学という特色を生かし、医薬品、食品などの既存分野だけでなく、生命科学領域をフロンティアとする新しい技術の開発にも貢献できる人材を育てたいと考えています。

電気電子工学コース

回路系から情報通信系、材料・物性系まで広い研究分野の研究室がそれぞれ大学院生を受け入れています。技術者、研究者を目指す者として、現代社会の基盤を支えるエネルギー分野、計測・制御分野、情報・通信分野、電子デバイス分野、材料・物性分野、またそれらの関連分野を対象に学習、研究を進めています。研究指導を重視し、それらを通して自ら考える能力、発見能力、問題解決能力の育成に努めます。技術者、研究者を目指す者として大学院で何を追究したいのか、目的意識をはっきりと持って進学してもらいたいと思います。

機械創造コース

本コースは、人類の持続的発展に役立ち、優れた機能を持つ機器やシステムを創造する研究者と技術者を養成します。すなわち、エネルギー・環境・安全・倫理に対する広い視野に立って、ものの形や機構と力学的作用を深く理解させる教育・研究を行います。さらに、機械に代表されるハードと知能に代表されるソフトとの融合を図り、進んだ情報処理能力、高度な計測技術と解析技術を修得させ、研究指導を通じて総合力を養い、自ら問題発掘と解決のできる学生を育てます。

知能情報コース

知能情報コースの教育と研究はデータサイエンス、知識処理、コンピュータ・ビジョン、ロボティクス、コンピュータグラフィックス、コンピュータヒューマンインタラクション、ウェアラブルコンピューティング、ネットワーク技術とウェブ技術を含む計算機や情報に関する幅広い分野を網羅している。新しい技術の創造と習得、ならびに人間社会内のその技術の役割の理解がコースの目的です。

マネジメントテクノロジーコース

製品ライフサイクル、生産システム、サプライチェーン、経営技術、環境経営、品質経営などの現代社会が抱える問題領域について、データ分析技術、モデル化技術、最適化技術の観点に立ったこれらのマネジメントに必要な概念・方法論・システムの構築とその運用を学び、

研究します。経営システム工学科のみならず他学科、他学部の卒業生の受け入れを歓迎する方針です。

【3】教育プログラム

理工学研究科では、従来のように各専門における深い知識、研究能力を持つ人材を育てるばかりでなく、理工学分野の最先端の成果についての知識を社会にすばやく応用あるいは発信できる人材を育成する教育をもめざしています。

そのために、博士前期課程の教育プログラムとして、**専門フロンティアプログラム**と**複合フロンティアプログラム**の2種類を設けています。

(1) 専門フロンティアプログラム

専門フロンティアプログラムは従来の博士前期課程で実践されてきたように、各専門分野での最先端の研究をおこない、それに基づいた修士論文を提出して修了することをめざす教育プログラムです。これは理工学の特定の学問領域について深く学び、その分野の第一線の研究および応用を担う人材を育成することをめざすものです。

(2) 複合フロンティアプログラム

複合フロンティアプログラムは複数コースの専門分野を広く学び、社会・文化と科学・技術のかかわりなど科学・技術に関する調査・分析をまとめた修士論文を提出し、博士前期課程を修了する教育プログラムです。つまり科学技術の成果に対する社会活動面からの評価、および科学・技術に対する社会経済活動からのニーズ等を評価できる人材の育成が目的です。修了後の進路としては、例えばシンクタンク、ジャーナリズム等への就職を想定しています。

また、「**コース兼任担当制度**」という制度もあります。本学大学院理工学研究科の教員である者うち、以下の①②の両方に該当する者は、コース兼任担当（コース兼担）の資格者です。本研究科教員は、入学試験合格者の希望に基づき、本研究科での資格審査で承認された場合、コース兼任担当者となることができます。入学を希望する専修コースと、希望する研究指導教員の所属専修コースが異なる場合は、出願時に希望する研究指導教員に必ず申し出てください。

- ①専門とする研究が、他コースの研究分野を跨ぐ、境界領域に発展している教員。
- ②分野を跨ぐ境界領域での研究を主題とする学生が、研究指導を希望している教員。

★出願者は、予め希望研究指導教員と面談し、その了解を得た後、所属のコースとどちらかの教育プログラムを選択しなければなりません。

【4】スケジュール

審査基準 合格者発表	入学試験要項①	出願期間	受験票受渡期間	審査期間 (詳細は学科から掲載)	合格発表②	入学手続要項の送付	入学手続日
4月13日(水) 午前10時 (所属学科より)	本学HPより 各自ダウンロードすること。	<u>第1期出願期間</u> 4月21日(木)～22日(金) ※窓口 or 郵送受付 (最終日消印有効)	<u>第1期</u> 4月26日(火)～27日(水) ※この期間に、学務課窓口にて 必ず受験票を受け取ること。	<u>第1期審査期間</u> 4月28日(木)より	第1期合格発表 6月3日(金)13:00	2022年12月 (出願時提出のレターパックに記載の住所宛に郵送)	2023年 1月27日(金) (締切日消印有効) 詳細は入学手続要項参照
		<u>第2期出願期間</u> 6月22日(木)～23日(木) ※窓口 or 郵送受付 (最終日消印有効)	<u>第2期</u> 6月27日(月)～28日(火) ※この期間に、学務課窓口にて 必ず受験票を受け取ること。	<u>第2期審査期間</u> 6月29日(水)より	第2期合格発表 7月22日(金)13:00		

※1 要項掲載ページ (<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/request/>)

※2 合格発表は、本学ホームページにて行います。 (<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>)

出願資格発表日 :

2022年4月13日(水) 10:00 ※各学科より発表

出願期間 :

第一期出願期間

2022年4月21日(木)～4月22日(金)

※理工学研究科特別給付奨学金、理工学部創立50周年記念奨学金の申請希望者(有資格者のみ)は、第一期に出願のこと。

第二期出願期間

2022年6月22日(水)～6月23日(木)

書類入手方法 :

出願要項は、本学ホームページよりダウンロードしてください。

出願受付方法 :

窓口または郵送

【注意】

- ・窓口受付の場合は、学務課窓口開室時間に限ります。
- ・郵送にて出願の場合は、各出願期間最終日の消印有効です。
- ・これを過ぎたものは受理せず返送します。なお、今後の状況により入構制限が厳しくなった場合、郵送のみでの受付となる可能性があります。
- ・窓口受付の場合は、学務課に設置してある所定の提出BOXに提出すること。
- ・出願受付後、所定の日時に受験票を配布します。郵送にて受験票を受取希望の場合は、返信用封筒(切手貼付、送付先記入済)を出願書類に同封すること。

受験票配布期間 :

出願手続完了後、以下期間に、学務課窓口にて必ず受験票を受け取ること。また、受験票の受け取りには、本人確認書類（学生証、運転免許証 等）が必要なため、必ず持参すること。受験票を郵送にて受取希望の場合は、出願書類に返信用封筒（要切手貼付、送付先記入）を同封すること。

第一期受験票配布期間

2022年4月26日（火）～27日（水）※窓口開室時間に限る

第二期受験票配布期間

2022年6月27日（月）～28日（火）※窓口開室時間に限る

審査について :

第一期審査期間

2022年4月28日（木）～5月20日（金）

第二期審査期間

2022年6月29日（水）～7月15日（金）

合 格 発 表 日 :

合格発表は、本学ウェブサイトにて行います。

第一期合格発表日

2022年6月3日（金） 13:00

第二期合格発表日

2022年7月22日（金） 13:00

※合格証明書発行については、学務課にお問合せください。

※合格発表ページ URL

(<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>)

【5】出願書類

1. 入学志願票（本学所定用紙）※写真不要。
2. 受 験 票（本学所定用紙）
3. 振込通知書（本学所定用紙）※詳細は【6】入学検定料に記載します。
4. レターパックライト（入学手続書類発送用）
レターパックライト（370円）を、各自でご用意の上、「お届け先」の欄に入学手続書類発送用の宛先を記入して提出すること。
5. 受験票返信用封筒（郵送での受取希望者のみ）※要切手貼付、送付先記入
6. 奨学金申請用紙（本学所定用紙）※詳細は【7】奨学金についてに記載します。
第一期出願者のうち、奨学金申込希望者（有資格者に限る）は、以下A,Bのうちいずれかを提出：
 - A. 理工学研究科 博士前期課程 特別給付奨学金 申込書（本学所定用紙）
 - B. 理工学部 50周年記念大学院給付奨学金申込書 （本学所定用紙）

〔出願書類送付先〕

青山学院大学 相模原事務部学務課
理工学研究科入学願書受付係宛
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1
TEL 042-759-6033(ダイヤルイン)

【6】入学検定料 ※出願受付後、入学検定料は返還いたしません。

35,000円

1. 以下①～③いずれかの方法で入学検定料をお支払ください。
 - ①銀行振込
 - ②コンビニ支払い（巻末の通り）
 - ③クレジットカード払い（巻末の通り）
2. ①～③のいずれかでお支払い頂いた証（振込依頼書控えや支払い完了メールを出力したもの）を「貼付用紙」にしっかりと貼り付けてください。
※銀行振込の場合は、銀行の収納印の押された振込通知書を貼り付けること。

【7】各種奨学金について

学内進学（第一期）に出願する者で、所定の基準を満たした者については、理工学研究科独自奨学金の申請資格が得られます。

1. 理工学研究科 特別給付奨学金

採用予定人数：

- (1) 授業料の全額を給付：最大 30 名

各学科において、成績上位者 5 名 × 6 学科

- (2) 授業料の半額を給付：約 70 名

各学科において、成績上位 15% 以内の者から上記 (1) に該当する者を控除した人数

申請資格：

理工学研究科への学内進学を希望する者で、次の条件を全て満たすもの

- (1) 理工学研究科への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。

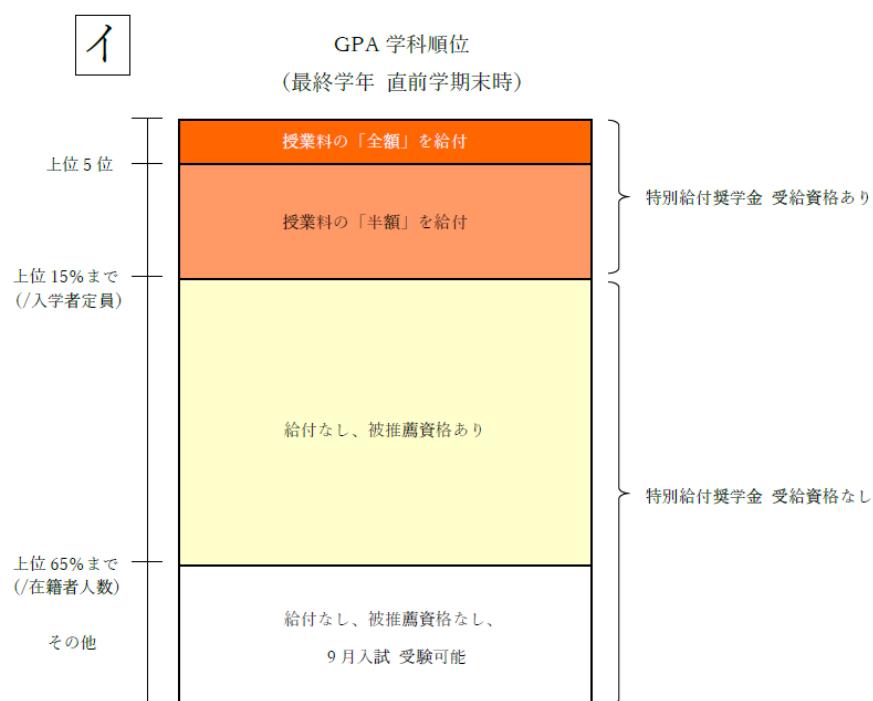
- (2) 当年度において理工学部の卒業見込みが成り立つこと。

- (3) 次のいずれかの条件を満たす者

イ：学内進学に係る第一期出願時において、希望者が本学で修めた成績が所定の基準

（成績上位 15% 以内）を満たしていること。

ロ：3 年次後期から 4 年次前期までの期間に交換留学生として協定校へ通年留学した者



申請資格保有者発表日：

2022 年 4 月 13 日（水） ※学内進学被推薦資格発表時に併せて、学科より発表

給付期間：

給付期間は、理工学研究科博士前期課程に在学している期間とする。ただし、標準修業年限（2年）を超えることができない。

申請方法：

学内進学（第一期）の出願書類に併せて、「理工学研究科 博士前期課程 特別給付奨学金申込書」を提出すること。ただし、予定指導教員の署名が必要。

選考及び結果発表の時期：

選考時期：4月下旬～5月中旬

結果発表：学内進学（第一期）合格発表時に行う

給付方法：

特別給付奨学金は、各学年において納付すべき授業料年額相当額又はその半額を免除することにより、これを給付したものとみなす。

停止、取消又は返還：

以下のいずれかに該当した場合は、特別給付奨学金の給付の停止若しくは取消しをし、又は返還を求めることができる。

- (1) 休学又は退学をしたとき。
- (2) 訓告・停学若しくは退学処分を受けたとき。
- (3) 疾病などのために長期に渡って欠席し、修了の見込みがなくなったとき。

給付奨学金の重複：

特別給付奨学生は、本学及び学校法人青山学院における学費に充当するための奨学金（給付・貸与）を重複して受けることができない。

2. 理工学部創立50周年記念奨学金

申請資格保有者：

本研究科学内進学（第一期）に出願する者のうち、特別給付奨学金の申請を行わない者。

採用予定人数：

各コース最大1名（合計最大8名）

申請方法：

学内進学（第一期）の出願書類に併せて、「理工学部50周年記念大学院給付奨学金申込書」を提出すること。ただし、予定指導教員の署名が必要。

給付金額：

80,000円を入学年次に1回限り給付する。

【8】入学手続について

入学手続書類発送時期：

2022年12月中

合格者には、出願時に提出されたレターパックにて、入学手続書類を郵送します。入学手続に関する詳細は、「入学手続要項」でご確認ください。

入学手続受付方法：

窓口または郵送 ※ただし、今後の状況により、郵送受付のみとなる可能性があります。

郵送には本学所定の封筒を使用すること（書留・速達）。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

【注意】

手続書類は12月中に投函します。2023年の年明け以降も書類が届かない場合には、必ず相模原事務部学務課（ダイヤルイン 042-759-6033）にお問い合わせください。下記期日以降は理由の如何を問わず受け付けませんので、充分注意してください。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

入学手続締切日：2023年1月27日（金）までの消印有効

【9】問合せ先

相模原事務部学務課 TEL 042-759-6033（ダイヤルイン）

※合否に関する問い合わせには一切応じられません。

学費等納入額の内訳について(2021年度参考掲載)

2022年度学費等は現在未定のため、改定された場合は改定後の金額となります。

学費等納入内訳 (2021年度参考)

費目	対象者	金額 (右記奨学生なし)	特別給付奨学生 (授業料全額免除)	特別給付奨学生 (授業料半額免除)	備考
学 費	入学金	0円	0円	0円	入学時のみ ①
	授業料	333,000円 ※1	0円 ※2	166,500円 ※3	年額：※1 666,000円 ※2 0円 ※3 333,000円
	在籍基本料	40,000円			年額：80,000円
	施設設備料	50,000円			年額：100,000円 2年次：100,000円
	教育活動料	40,000円			年額：80,000円 毎年納入
諸 会 費	(小計)	463,000円	130,000円	296,500円	
	後援会費	2,500円			年額：5,000円 毎年納入
	◎校友会費	0円			入学時のみ ②
	学会費	2,000円			年額：4,000円 毎年納入
	(小計)	4,500円			
	入学時納入金合計	467,500円	134,500円	301,000円	(後期分学費等含まず)
	初年度納入金合計	935,000円 ※1	269,000円 ※2	602,000円 ※3	後期分学費等： ※1 467,500円 ※2 134,500円 ※3 301,000円 を含む

学費等には消費税は加算されません。

① 入学金：本学学部卒業見込者 …… 納入免除

② 校友会費 …… 本学出身者は納付済のため不要

備 考

1-1. 【奨学金なし】入学手続時の納入金額

入学手続時 納入金額 467,500 円

1-2. 【理工学研究科 特別給付奨学金あり（授業料の全額免除）】入学手続時の納入金額

入学手続時 納入金額 134,500 円

1-3. 【理工学研究科 特別給付奨学金あり（授業料の半額免除）】入学手続時の納入金額

入学手続時 納入金額 301,000 円

後期分学費は、入学後、後期に納入してください。なお、入学手続時に後期分学費を併せて納入することもできます。

2. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

3. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、「入学辞退願」が 2023 年 3 月 31 日 16:00 までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格発表時にお渡しする「入学手続要項」をご覧ください。

4. 理工学研究科 特別給付奨学金について

「採用通知」を受け取っている（保証人住所へ送付済の）方が受給候補者となります。初年度の受給については、授業料の全額・もしくは半額を免除することで給付したものと見なされますので、特に必要な手續はありません。（半額免除は各学期の授業料が半額となります）

次年度の奨学金受給には継続手続が必要です。継続手続を失念しないよう注意してください。その他詳細な注意事項は採用通知をご覧ください。

連携大学院方式について

連携大学院方式とは、青山学院大学大学院理工学研究科（以下「大学院」という。）が国立・私立等の研究所等（以下「研究所」という。）と協定に基づき連携をして、研究所の研究者を本学の客員教授または客員准教授（以下「客員教員」という。）として委嘱し、大学理工学研究科の学生（以下「大学院学生」という。）は最新の設備と機能を有する研究所において、それらの客員教員から修士論文および博士論文の研究指導等を受け、大学院の研究領域の拡大はもとより新たな学問領域の確立を図り、大学院教育を多様化することを目的とした制度です。

客員教員（指導教員）

本学大学院において必要とみとめられる研究分野について、研究所の研究員を客員教員として委嘱します。

大学担当教員（副指導教員）

本大学院の専任教員がこれにあたり、客員教員に協力して、大学院学生の研究指導等について補完的役割を担います。

大学院学生

本学大学院に在籍し、課程修了に必要な単位は本学で修得する。研究指導は原則として研究所において客員教員から受けることとなります。

<2022年度連携大学院方式に伴う受入先>

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

独立行政法人 産業技術総合研究所

(注5) 連携大学院方式による指導教員を希望する場合は、必ず出願前に該当する大学担当教員にお問い合わせください。なお、連携大学院方式による客員教員については、2021年度の教員組織を参考に記載しております。

教 員 組 織

大学院理工学研究科

研究科長 長秀雄

理 工 学 専 攻

専攻教務主任 鶩見 和彦

教務主任（基礎科学コース）

山崎 了

教務主任（化学コース）

杉村 秀幸

教務主任（機能物質創成コース）

春山 純志

教務主任（生命科学コース）

田邊 一仁

教務主任（電気電子工学コース）

外林 秀之

教務主任（機械創造コース）

横田 和彦

教務主任（知能情報コース）

山口 博明

教務主任（マネジメントテクノロジーコース）

熊谷 敏

1. 博士前期課程

理 工 学 専 攻 (☆印の付された研究指導教員は、「専門フロンティアプログラム」と「複合フロンティアプログラム」の両方担当しますが、その他は「専門フロンティアプログラム」のみの担当です。)

基礎科学コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	市 原 直 幸	確率論、偏微分方程式論
	坂 上 貴 洋	ソフトマター物理学
	坂 本 貴 紀	重力波源の電磁波対応天体の探査
☆谷 口 健 二		表現論、球関数
津 田 照 久		複素領域の微分方程式、特殊函数
中 山 裕 道		位相幾何学、力学系、微分位相幾何学
西 山 享		表現論、調和解析、離散数学
前 田 はるか		原子物理学実験、量子制御、極低温リュードベリ原子・プラズマ
☆増 田 哲		非線形可積分系
☆松 川 宏		摩擦の物理
松 本 裕 行		確率論、微分方程式論
山 崎 了		宇宙物理学、高エネルギー天文学
☆吉 田 篤 正		宇宙物理学、トランジエント天体
准 教 授	中 田 行 彦	遅延微分方程式、数理生物学
	松 田 能 文	位相幾何学、幾何学的群論
	山 中 卓	数理ファイナンス
客 員 教 授 (連携大学院方式)	吉 田 哲 也	気球工学、宇宙粒子物理学、素粒子物理学実験 (大学担当教員は坂本 貴紀教授)
コース兼担教授	富 重 道 雄	生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	☆古 川 信 夫	物性理論、新規機能性物質の材料設計
担当教員		担 当 科 目
教 授	市 原 直 幸	確率過程論、計算数学特論
	坂 上 貴 洋	統計物理学特論 A・B
	坂 本 貴 紀	宇宙物理特論 A・C、宇宙放射線特論、データ解析特論
	谷 口 健 二	リーブル理論、表現論
	津 田 照 久	応用数学特論、組合せ論
	中 山 裕 道	位相幾何学、力学系
	西 山 享	表現論、組合せ論
	前 田 はるか	量子力学特論
	増 田 哲	関数方程式論、非線形数理
	松 川 宏	場の理論 A・B
	松 本 裕 行	スペクトル理論、確率過程論
	山 崎 了	一般相対論、宇宙物理特論 A・B、データ解析特論
	吉 田 篤 正	宇宙物理特論 A、データ解析特論
准 教 授	中 田 行 彦	関数方程式論
	松 田 能 文	力学系、位相幾何学
	山 中 卓	離散数学、計算数学特論
研究指導教員共通		物理科学特別輪講(A～D)、数理科学特別輪講(A～D)、理工学特別実験・演習(A～D)

化学コース

研究指導教員		専 門 分 野
教 授	阿 部 二 朗	量子化学、物性化学、機能物質化学
	坂 本 章	物理化学、分子分光学、構造化学
	杉 村 秀 幸	天然物合成化学、生体機能分子の設計と合成

鈴木 正	物理化学、レーザー光化学
武内 亮	有機化学、有機合成化学、有機金属化学
☆長谷川 美貴	錯体化学、ランタニド錯体の光化学
准教授 ☆中田恭子	理論化学、固体物性理論、ナノ炭素材料

担当教員 担当科目

教 授 阿部二朗	量子化学特論
坂本章	構造化学特論
杉村秀幸	天然物化学特論
鈴木正	光化学特論
武内亮	有機化学特論
長谷川美貴	錯体の材料科学特論
准教授 中田恭子	ナノ炭素材料の理論
研究指導教員共通	化学特別輪講 (A~D)、理工学特別実験・演習 (A~D)

機能物質創成コース

研究指導教員		専門分野
教 授 北野晴久		物性物理学、超伝導と電荷秩序、マイクロ波物性
澤邊厚仁		固体電子物性、電子薄膜材料の合成と解析
重里有三		固体化学、高度な機能を有する無機薄膜材料の創成
下山淳一		固体欠陥化学、新機能材料創成、新超伝導物質開発
春山純志		メゾスコピック系の物理学、量子ナノデバイスの開発
☆古川信夫		物性理論、新規機能性物質の材料設計
☆三井敏之		表面科学、生物物理学
客員教授 (連携大学院方式) 竹歳尚之		ナノ薄膜・界面の熱物性、薄膜・微小領域熱物性計測技術の開発 (大学担当教員は重里 有三教授)
八木貴志		固体物理学、熱物性解析 (大学担当教員は重里 有三教授)
客員准教授 (連携大学院方式) 山下雄一郎		材料科学、固体物理学、材料データベース (大学担当教員は重里 有三教授)
担当教員		担当科目
教 授 北野晴久		固体物理学特論 I
澤邊厚仁		無機材料特論、電子物性特論
重里有三		無機薄膜工学特論
下山淳一		固体物理学特論 II、物質科学特論
春山純志		ナノサイエンス特論
古川信夫		基礎固体電子特論 I・II
三井敏之		表面と表面計測
研究指導教員共通		機能性物質の基礎と応用、物質科学特別輪講 (A~D)、物質工学特別輪講 (A~D)、理工学特別実験・演習 (A~D)

生命科学コース

研究指導教員		専門分野
教 授 ☆阿部文快		分子生物学、生化学、生物物理学、圧力生理学、分子遺伝学
☆木谷茂		応用微生物学、天然物化学、生化学、分子生物学
☆諫訪牧子		バイオインフォマティクス、計算生物学、生物物理学、ゲノム情報学、生命情報に基づくタンパク質の構造・機能予測
☆田邊一仁		生体分析化学、分子イメージング、生物有機化学、核酸化学
富重道雄		生物物理学、一分子計測、生体分子機械
☆平田普三		生化学、分子生物学、細胞生物学、発生生物学、生理学、脳科学、疾患、老化
コース兼担教授 ☆三井敏之		表面科学、生物物理学
担当教員		担当科目
教 授 阿部文快		最先端生命科学入門、微生物分子生物学、生命科学研究法 B
木谷茂		タンパク質科学特論、構造生化学、生命科学研究法 B
諫訪牧子		ゲノム情報科学、バイオインフォマティクス特論、生命科学研究法 A
田邊一仁		生体機能分析、生命機能化学、生命科学研究法 A、科学技術倫理
富重道雄		生体分子イメージング、生体分子機械論、生命科学研究法 A

コース兼担教授	平田 普三 三井 敏之 研究指導教員共通	生化学・分子生物学概論、細胞生物学、神経科学、生命科学研究法A 生命科学研究法B 生命科学特別輪講(A~D)、理工学特別実験・演習(A~D)
---------	----------------------------	--

電気電子工学コース

研究指導教員			専門分野
教 授	黄 晋二 外 林秀之 地 主創 野 澤昭雄 松 谷康之 ☆米 山淳		電子デバイス工学、結晶成長 光ネットワーク、光センシング 情報・通信理論 生体計測工学 アナログ・デジタル回路、集積回路 制御工学、システム理論
准 教 授	石 河泰明 須 賀良介 松 本洋和		固体電子物性工学、薄膜デバイス マイクロ波工学、環境電磁工学 パワーエレクトロニクス
担当教員			担当科目
教 授	黄 晋二 外 林秀之 地 主創 野 澤昭雄 松 谷康之 米 山淳		電子物性工学特論、電子物性・材料特論II 信号処理特論、スイッチング回路特論 情報工学特論、電子通信特論 福祉工学、生体電子工学特論 電子回路特論、アナログデジタル回路特論 電子制御特論、インテリジェント制御システム
准 教 授	石 河泰明 須 賀良介 松 本洋和 研究指導教員共通		半導体工学特論、電子物性・材料特論I マイクロ波、ミリ波計測特論、環境電磁工学特論 パワーエレクトロニクス特論、モータードライブ特論 電気電子工学特別輪講(A~D)、理工学特別実験・演習(A~D)

機械創造コース

研究指導教員			専門分野
教 授	☆熊 野 寛 之 ☆菅 原 佳 城 ☆長 秀 雄 ☆麓 耕 二 ☆横 田 和 彦 ☆米 山 智 聰 ☆渡 邊 昌 宏		熱・環境工学、伝熱工学、蓄熱技術 機械力学、制御工学、航空宇宙工学、ロボット工学 材料科学、超音波計測、非破壊評価 熱流体工学、エネルギー変換工学、生体熱工学 航空宇宙原動機学、数値・実験・理論流体力学、ターボ機械学 材料力学、実験力学 流体関連振動、流体構造連成力学、振動工学
准 教 授	☆田 崎 良 佑 ☆蓮 沼 将 太		生産加工、人間ロボット共生、システム制御工学 材料強度学、金属疲労、マルチスケール解析
客員教授 (連携大学院方式)	德 川 直 子 後 藤 健 森 治		流体力学 (大学担当教員は横田 和彦教授) 宇宙構造、材料工学、複合材料工学 (大学担当教員は米山 智諭教授) 宇宙機システム、宇宙機の動力学・制御 (大学担当教員は菅原 佳城教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	熊 澤 寿		構造力学、材料力学、航空宇宙工学 (大学担当教員は蓮沼 将太准教授)
担当教員			担当科目
教 授	熊 野 寛 之 菅 原 佳 城 長 秀 雄 麓 耕 二 横 田 和 彦 米 山 智 聰 渡 邊 昌 宏		伝熱工学特論 機械制御特論 超音波・レーザ計測特論 輸送現象特論、製品安全と社会制度 流体力学特論、リスクベース安全工学 材料力学特論 機械力学特論
准 教 授	田 崎 良 佑 蓮 沢 將 太 研究指導教員共通		生産加工特論 材料工学特論 機械創造特別輪講(A~Dいずれか)、理工学特別実験・演習(A~D)

知能情報コース

研究指導教員		専門分野
教 授	☆Dürst, Martin J. ☆Lopez, Guillaume F. ☆伊藤 雄一 ☆大原 剛三 ☆鷲見 和彦 ☆戸辺 義人 中園 嘉巳 ☆山口 博明	ワールドワイドウェブ、ソフトウェアの国際化、ソフトウェア科学 ウェアラブルコンピューティング、人間情報学 ヒューマンコンピュータインタラクション、無意識コンピューティング、バーチャルリアリティ 発見科学、データマイニング、機械学習、社会ネットワーク分析 パターン認識（画像認識・画像理解・コンピュータビジョン）、セキュリティ（映像セキュリティ・生体個人認証） 情報通信工学、実世界コンピューティング 生体情報学、神経生理学 ロボット工学、制御工学、メカトロニクス
准 教 授	楽 詠瀬 ☆森田 武史	コンピュータグラフィックス、レンダリング、アニメーション、デジタルファブリケーション、物理シミュレーション、計算統計 知識工学、オントロジー工学、セマンティックウェブ、ウェブインテリジェンス、知能ソフトウェア工学、課題解決型演習
担当教員		担当科目
教 授	Dürst, Martin J. Lopez, Guillaume F. 伊藤 雄一 大原 剛三 鷲見 和彦 戸辺 義人 中園 嘉巳 山口 博明	ワールドワイドウェブ特論、ソフトウェア特論 スマートメディア特論、ウェアラブルメディア特論、課題解決型演習 ヒューマンインターフェース特論、バーチャルリアリティ特論 発見科学特論、データサイエンス特論、課題解決型演習、機械学習アルゴリズム応用演習 先端コンピューティング特論、情報セキュリティ特論、課題解決型演習、先端データ分析特論 インターネット特論、無線通信システム特論 生体運動学、身体性知能論 非線形制御、ロボット工学特論
准 教 授	楽 詠瀬 森田 武史 研究指導教員共通	コンピュータアニメーション特論、コンピュテーションナルデザイン特論 人工知能特論、知能ソフトウェア科学特論 知能情報特別輪講（A～D）、理工学特別実験・演習（A～D）

マネジメントテクノロジーコース

研究指導教員		専門分野
教 授	☆石津 昌平 ☆大内 紀知 ☆小野田 崇 ☆熊谷 敏 ☆栗原 陽介 ☆宋少秋 ☆松本俊之 ☆水山 元	品質情報システム、評価構造、品質管理技術、経営品質評価、品質管理教育 イノベーション・マネジメント、技術経営学、データ分析 機械学習、設備診断・サイバーセキュリティ、人工知能、ビッグデータ解析 経営工学、経営管理システム システム工学、情報工学、計測工学、信号処理 組合せ最適化、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ インダストリアル・エンジニアリング、改善技術、生産情報システム 生産システム工学、生産管理、集合知
准 教 授	☆小林 和博 研究指導教員共通	数理工学、数理最適化、サイバーフィジカルシステム
担当教員		担当科目
教 授	石津 昌平 大内 紀知 小野田 崇 熊谷 敏 栗原 陽介 宋少秋 松本俊之 水山 元 准 教 授 研究指導教員共通	品質情報システム特論Ⅰ・Ⅱ 意思決定特論Ⅰ・Ⅱ、統計的データ分析基礎演習 統計的機械学習特論Ⅰ・Ⅱ、統計的データ分析基礎演習、課題解決型演習、機械学習アルゴリズム応用演習 経営管理システム特論Ⅰ・Ⅱ システム工学特論Ⅰ・Ⅱ 組合せ最適化特論Ⅰ・Ⅱ カイゼンマネジメント特論Ⅰ・Ⅱ 協働システム特論Ⅰ・Ⅱ 数理最適化特論Ⅰ・Ⅱ マネジメントテクノロジー特別輪講（A～D）、理工学特別実験・演習（A～D）

クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



インターネット申込 クレジット決済

出願



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

1. トップページ 「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択 研究科を選択してください。
3. 入試選択 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認 申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック
7. 受付番号確認 受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)
8. クレジットカード情報入力 支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック
*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。
*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



郵便局から
郵送にて出願。

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税別)が別途かかります。
払込手数料(税別):30,000円未満…手数料 454円、30,000円以上 50,000円未満…手数料 797円、50,000円…手数料 908円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払ください

1
お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi

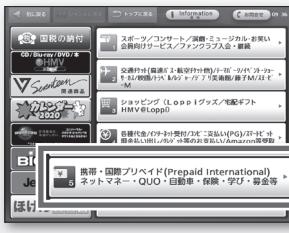
MINISTOP Loppi

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)を含むボタン

↓
学び・教育・各種検定試験

↓
大学・短大・専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。



2
お支払い

①コンビニのレジでお支払ください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が発行されますので、
30分以内にレジにてお支払ください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

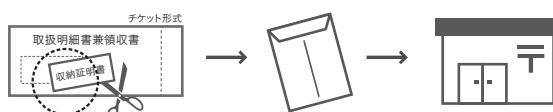
払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円



3
出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の 「収納証明書」部分を切り取り、 入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



青山学院大学・銀行提携「教育ローン」についてのご案内

本学には、学部生・院生を対象とした銀行提携「教育ローン」制度があります。
この制度は、青山学院と銀行が特別に提携し、一般的の教育ローンより有利な条件を設定したものです。
青山学院大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により修学を断念することのないよう
在学中の経済的な不安を解消し、勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。

〔特徴〕

1. 一般的の教育ローンより低金利で融資を受けることができます。
2. 在学期間中の元金返済措置の制度もあります(在学中は利息のみを支払い、卒業後、元利を併せて返済することができます)。

〔利用資格〕

本学に入学を許可された学生の保護者(または本人)で銀行の定めた資格を有することが必要です。

〔利用方法〕

1. (1) 「教育ローン」の利用を希望する場合は下記必要書類を整えた上で、事前に提携銀行で融資可能かどうかの審査を受けて下さい(審査には2週間程度の期間が必要です)。

(必要書類)

- ・資金使途確認資料…………受験票、入学手続金確認資料(入学募集要項他)
(合格後に審査を受ける場合…学費納付書、学費受領証等(入学手続要項他))
- ・本人確認資料…………印鑑証明書、住民票、運転免許証、健康保険証の写し等の
いざれか一通
- ・所得確認資料…………所得証明書、源泉徴収票等のいざれか一通

2. 融資可能となれば合格証明書を提示して融資実行となります。

合格証明書発行部署:文・教育人間科学・経済・法・経営・国際政治経済・総合文化政策学研究科は学務部教務課 (青山キャンパス17号館2階)

専門職大学院は専門職大学院教務課 (青山キャンパス17号館2階)

理工学・社会情報学研究科は学務課(相模原キャンパスB棟1階)

2. 入学時手続金等を自己資金で納入した後でも、一定期間内であれば融資を受けることができます。

〔注意事項〕

1. 契約はすべて銀行と融資を受ける者が行い、融資は学費(授業料他)等の教育資金に限ります。
2. 銀行による、大学以外の機関の融資ですから返済を考えて慎重に判断してください。
3. 銀行によって、融資条件・金利等の契約内容に若干の差がありますので、契約する銀行に直接照会してください。

[取扱い銀行 代表お問合せ支店]

- ・みずほ銀行 全国の支店
- ・三井住友銀行 全国の支店
- ・三菱東京UFJ銀行 全国の支店

青山学院との提携以外にも下記記載の公共機関等による教育ローンもあります。

〔国の教育ローン〕

本学に入学・在学する学生・保護者の方は、日本政策金融公庫(国民生活事業)の「国の教育ローン」を申し込むことができます。
申込条件等の詳細については、教育ローンコールセンターに直接お問合せください。

日本政策金融公庫(国民生活事業)教育ローンコールセンター

TEL:0570-00-8656 (月～金9:00～21:00 土9:00～17:00)

日本政策金融公庫(国民生活事業)ホームページ

<http://www.ifc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

出願書類チェックリスト

チェック欄	提出書類	注意点
志願票		<ul style="list-style-type: none"> 指導教員の印が押されているか 誓約欄に記名済か
受験票		<ul style="list-style-type: none"> 出願コースを記載しているか 該当するプログラムに○を付けているか
振込通知書貼付合紙		
レターパックライト（370円）		<ul style="list-style-type: none"> 「お届け先」欄に、入学手続書類送付先住所を記入済か
特別給付奨学生申請書		<ul style="list-style-type: none"> 対象者のみ提出。第一期出願者のみ申請可。 (詳細は、募集要項本文参照。)
50周年記念奨学生申請書※1		<ul style="list-style-type: none"> 対象者のみ提出。第一期出願者のみ申請可。 (詳細は、募集要項本文参照。)

※1 特別給付奨学生を申請しない者のうち、50周年記念奨学生に申請希望の場合に提出。

青山学院大学大学院入学志願票

(学内進学)

「学内進学」入学試験は、本学理工学専攻への進学を第一志望とする者に対する推薦入学試験制度のため、制度の意味をよく理解して信頼性を損なわないように慎重に出願すること。

2023年度

理工学研究科理工学専攻 博士前期課程・博士後期課程 専門フロンティアプログラム・複合フロンティアプログラム		受験番号	*	
フリガナ 氏名	男 ・ 女			生年月日 西暦 (年 月 日) (歳)
本籍 都・道・府・県(外国籍の場合は国籍を記入)				
〒 現住所 電話番号 () 携帯電話番号 () FAX. ()				
学歴(高等学校以降のすべての学歴を記入してください。) 西暦年月日で記載。				
高等学校	年	月	卒業	
青山学院大学 理工学部	学科	年	月 入学	
青山学院大学 理工学部	学科	年	月 卒業見込	
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
職歴	非常勤・アルバイト・嘱託等の記入は不要。 ただし、年月の後に退職・在職中の別を記入してください。			
	年	月	年	月
	年	月	年	月
	年	月	年	月
	年	月	年	月
本学出身者は必ず 右欄を記入してください	学生 番号		演習担当者 又は指導教員	

注意 コース名の記入、及び「専門フロンティアプログラム」「複合フロンティアプログラム」のいずれか希望側に○印を忘れずに付してください。

(*印は記入不要)

◎下記のすべての項目について必ず記入してください。

卒業論文題目
学部時における主な研究内容
入学後の研究主題及び研究計画の概要
研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員) 印
修了後の進路希望(具体的に記入してください)
私は、本入学試験により入学を許可された場合、これを辞退いたしません。 出願者署名(自署) _____

青山学院大学大学院受験票
(学内進学)

2023年度

理 工 学 研 究 科	※ 受験番号
博 士 前 期 課 程	
理工学専攻	
コース 専門・複合 フロンティアプログラム (コースを記入し、該当するプログラムに○をしてください)	
フリガナ	領収印
氏 名	
1. 入学手続書類は本票と引換えに交付します 2. 本票をもって入学検定料の領収書とします 3. ※印欄以外はすべて記入してください	

キリトリ線

必ず切り取って
提出すること

学内進学(第一期)

振込金受取書
(兼手数料)
入学検定料(本学卒業見込者)

振込通知書(大学院提出用)
入学検定料(本学卒業見込者)

振込依頼書

入学検定料(本学卒業見込者)

2022年月日	手續者切取線
金額	円 ¥35,000
受取人	先方銀行 三井住友銀行 渋谷支店 預金種目 普通預金 口座番号 8404582
御依頼人	(学)青山学院検定(大学院B)
備考	様
上記の金額正に受け取りました。	收納印又は振替印
<銀行取扱期限日> 2022年4月22日	

(取扱店→御依頼人(志願者))

(取扱店→志願者(志願者)→大学院)

科目	入学検定料(本学卒業見込者)
手数料	円 ¥35,000
振込人	依頼日 2022年月日 電信扱手数料 先方銀行 三井住友銀行 金額 受取人 預金種目 普通預金 口座番号 8404582 ガ'ガ'アオヤマカ'クハ'ケ'テ'カ'ウ'ノ'ビ'ー' (学)青山学院検定(大学院B)
負担	4月22日 ※ 2022年 ※期限後の取扱不可
取扱銀行切取線	受取人 預金種目 普通預金 口座番号 8404582 御依頼人 カタナ氏名 漢字氏名 住所 (電話) - - - 收納印又は振替印 <銀行取扱期限日> 2022年4月22日 ※取扱銀行へお願い FB処理をしていますので、打電CD・かたかげ氏名 の順序で打電して下さい。

(取扱店保管)

学内進学(第二期)

振込金受取書
(兼手数料)
入学検定料(本学卒業見込者)

振込通知書(大学院提出用)
入学検定料(本学卒業見込者)

振込依頼書

入学検定料(本学卒業見込者)

手続者切取線	
2022年月日	金額
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店
受取人	御依頼人 様
備考	上記の金額正に受け取りました。
	收納印又は振替印
〈銀行取扱期限日〉 2022年6月23日	

(取扱店→御依頼人(志願者)→大学院)

(取扱店保管)

科目	
入学検定料(本学卒業見込者)	
依頼日	2022年月日
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店
受取人	預普通預金 口座番号 8404582 カクアオヤマカクハケテ(タカウノビー)
御依頼人	打電CD 501 カタナ氏名 漢字氏名
住所	(電話) - - -
※各欄の太枠の中だけボールペンで「記入下さい。」	
取扱銀行切取線	手数料
金額	¥35,000
年月日	2022年月日
金額	¥35,000
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店
受取人	預普通預金 口座番号 8404582 (学)青山学院検定(大学院B)
御依頼人	打電CD 501 カタナ氏名 漢字氏名
住所	(電話) - - -
※期限後の取扱不可	
※取扱銀行へお願い FB処理をしますので、打電CD・かたな氏名 の順序で打電して下さい。	

(取扱店→御依頼人(志願者)→大学院)

①収納証明書

*コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合

貼付用紙**②振込通知書（大学院提出用）**

*金融機関から振込の場合

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科 専攻	理工学研究科 理工学専攻	志願コース	コース
受験番号 (記入不要)		課程 <input type="radio"/> で囲む	博士前期・博士後期
フリガナ			連絡先 ()
氏名			

※連絡先には日中連絡がつきやすい電話番号を記入のこと

- ①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、
はがれないように全面のり付けして
ください。

① 収納証明書 貼付欄はがれないように全面のり付け
してください。**② 振込通知書****(大学院提出用)****貼付欄**

- ②金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書（大学院提出用）をはがれないように全面のり付けしてください。
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

はがれないように
全面のり付け
してください。

理工学部 50 周年記念大学院給付 奨学金申込書

受付番号		(学務使用欄)
学生記入欄	氏名	
	学生番号	
	所属学科	
	進学を希望するコース および予定指導教員	
	奨学金の申請理由	
	奨学金をどのように 役立てるか	
	大学院終了後の進路	
教員記入欄	指導予定教員の 推薦理由	

本奨学金は、青山学院大学理工学部の卒業生、保証人、教員および職員（退職者を含む）からの募金を原資としていることを理解するとともに大学院進学後は学業に精進することを誓います。

学生署名

日付

指導予定教員確認欄

上記学生が青山学院大学大学院に内部推薦によって入学する予定であることを確認しました。

教員署名

日付

理物理学研究科 博士前期課程 特別給付奨学金 申込書

以下の必要事項をすべて記入し、(予定)指導教員自署後、「学内進学」出願書類と合わせて、出願期間内に学務課へ提出すること。

学生 記入欄			
学生番号	15	所属学科	学科
氏名		希望進学 コース	コース
大学院進学時への 志望動機及び 研究したいこと等			
本給付奨学金の趣旨を十分理解し、奨学生として学業に精進し、社会に貢献できる人材となるよう努力することを誓います。			
署名（自署）	<u>20 年 4 月 日</u>		

予定指導教員 記入欄			
上記学生が青山学院大学大学院の奨学生候補者として相応しいこと、内部推薦によって入学する予定であることを確認しました。			
署名（自署）	<u>20 年 4 月 日</u>		

事務使用欄

研究科長	専攻主任	所属長	研究科担当	教授会決定	審査結果	給付額（授業料相当）
				20 年 月 日承認	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格	<input type="checkbox"/> 全額 <input type="checkbox"/> 半額